

ひとりひとりをより大切に

お子さんの特性（得意なことや苦手なこと）を理解し、お子さんに合った支援を一緒に考えましょう。

理解して支援へ

学習面

- 早とちりや簡単なミスが多い。
- 問題の意味が理解できにくい。
- 理解してできるようになるまでに時間がかかる。
- みんなについていけるかどうか心配だ。

〈こんな支援をしてみませんか〉

- 手本を示したり一緒にしたりして、読み・書きの練習をさせましょう。
- 具体物を使って問題文の内容を再現したり、計算の仕方を言葉で言わせたりしてみましょう。
- 一緒にしてやり遂げた喜びを経験させましょう。
- 伸びを見つけてほめましょう。

人とのかかわり

- 人とのトラブルを起こすことがある。
- 友達づくりがうまくできない。
- 一人でいることが多い。
- 自分の考えをあまり言わない。
- いじめられているように思う。

〈こんな支援をしてみませんか〉

- 適切なかかわり方のモデルを示しましょう。
- みんなと一緒に過ごす楽しさが味わえる経験をたくさんしましょう。
- 温かいかかわりを増やしましょう。
- 早めに園や学校に相談しましょう。

ことば

- 言葉の発達が遅れているように思う。
- 発音がはっきりしない。
- 会話が一方的で話題がとびやすい。
- 相手がだれであれ同じように話しかけてしまう。
- 相手がどう思っているかが分からない。

〈こんな支援をしてみませんか〉

- 正しい発音でゆっくり話しかけましょう。
- 十分に時間をとって聞いたり文章に書かせたりしましょう。
- 本の読み聞かせや会話を多くしましょう。
- 気持ちを言葉にする仲立ちをしましょう。

行動面

- 強いこだわりがある。
- 集団の中での行動がとれにくい。
- 注意力が散漫で衝動的に行動する。
- 非行や問題行動を起こすことがある。
- 学校へ行くのを嫌がるときがある。

〈こんな支援をしてみませんか〉

- 見通しがもてるような方法や手順を示しましょう。
- 気になる行動を指摘するのではなく、望ましい行動を示しましょう。
- 原因をさぐり、共感的に受け止めましょう。

情緒面

- 感情の起伏が激しい。
- かんしゃくを起こしたり、乱暴な行動をとったりする。
- 気持ちの切り替えができにくい。
- 人を怖がるときがある。
- 心配なことがあると、頭やお腹が痛くなる。

〈こんな支援をしてみませんか〉

- 自分の行動に気付くよう少し間をとりましょう。
- 気持ちの切り替えを示し、がまんができたときは十分ほめましょう。
- 気持ちをしっかりと聞いて寄り添いましょう。

身体面

- 手先の器用さや走ったり歩いたりする動きがぎこちない。
- 目の見え方や耳の聞こえ方などが気になる。
- 発達が遅れているように思う。
- 病気があり学校生活が送れるかどうか心配だ。
- 身体的特徴から人に何か言われないうる心配だ。

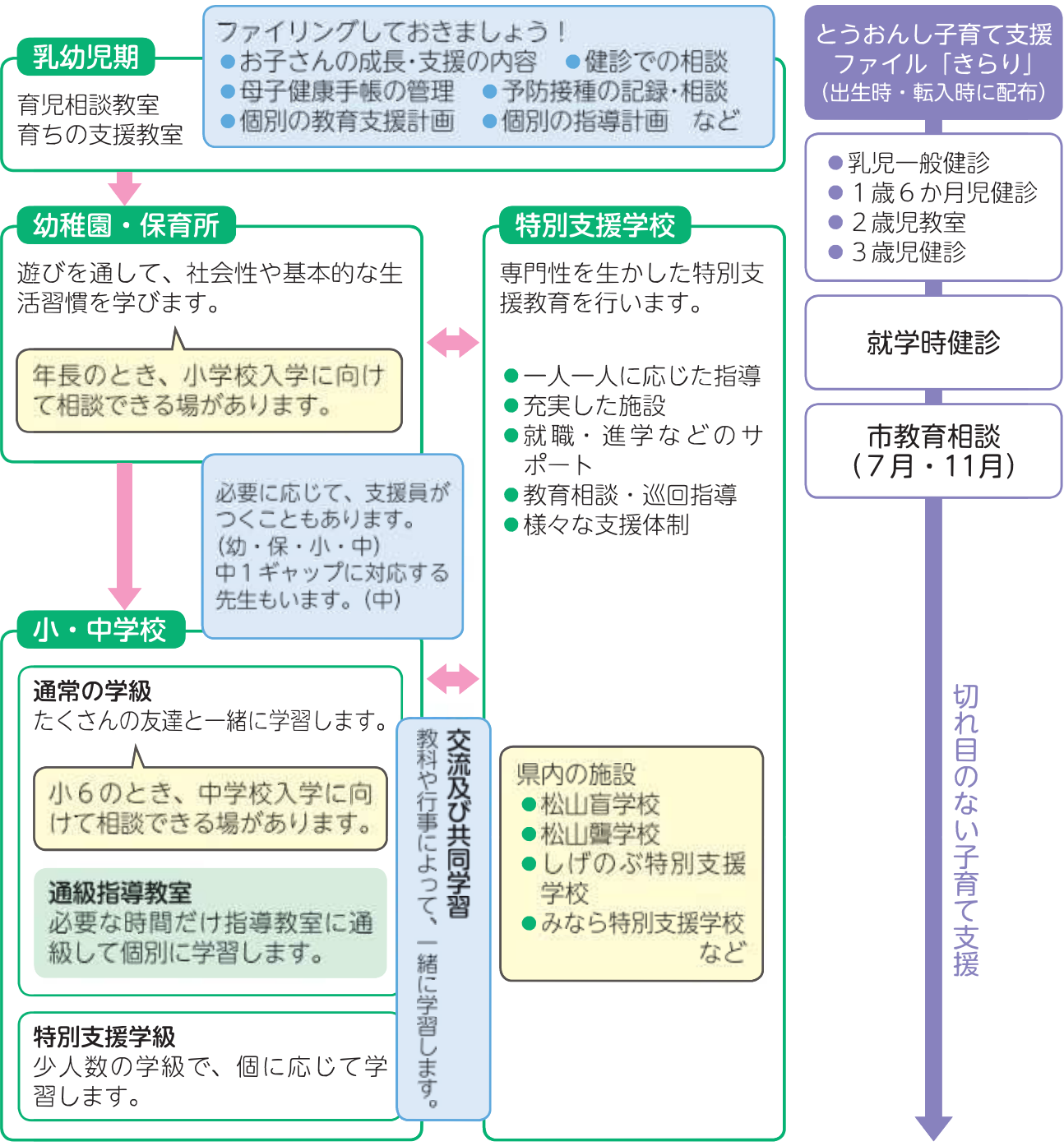
〈こんな支援をしてみませんか〉

- 様々な遊びや運動を一緒に楽しみましょう。
- 早めに専門機関等に相談しましょう。
- よさをほめ、自己肯定感を高めましょう。

どんなときも、達成感を得られる体験や、ほめられ認められる経験を重ねることが大切です。一人一人に応じた支援を充実することが、お子さんの自信とやる気につながり、よりよい育ちとなります。



とうおんし子育て支援ファイル「きらり」を使って、切れ目のない子育て支援をずっと見守っていきます



ひとりひとりをより大切に

みんなで話し合っ
「お子さんに合った学びの場」
が決まります。

「きらり」を見てもらえば、何度も同じ説明をしなくても、一貫した相談、支援がスムーズに受けられますね。



就学先が決定したあとも、適切な支援が受けられるよう、継続して見守っていきます。
お子さんの成長や様子に合わせて、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、「学びの場」や「支援内容」を一緒に考えていきます。

